

---

# 運命という名の呪縛

北川瑞稀

---

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

## 注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

### 【小説タイトル】

運命という名の呪縛

### 【コード】

N0081J

### 【作者名】

北川瑞稀

### 【あらすじ】

少年が居なくなつて、静かに涙を流す少女の想い。憎みたくて、憎めないもの。

あの時、君を止められなかったこと、今でも後悔してる。

うすうす感づいてはいたの。“この手を離したら君はもう戻ってこない”って。

でも止められなかった。君の瞳<sup>め</sup>を、見てしまったから。

あの覚悟を決めた、瞳<sup>め</sup>を。

ずっと一緒だったからわかるの。あれは 護る覚悟。

私を、仲間を、この 世界を。

そして君が居なくなった今。

それでも世界は動き続けてる。

太陽も、空も、すべての生物も。

みんなみんな変わらない。

ただ違うのは、君が居ないことと、わたしが感じているこの気持ちだけ。

どうして太陽は、空にあるの？

そう訊かれて答えられる人は居ないと思う。

でもわたしは、たとえ答えられなくても、すべての人に問いかけた  
い。

わたしにとって世界でいちばんいちばん憎みたくて、だけど憎めないあの太陽が、世界でいちばん大きくて、何よりもわかりやすいあの青いキャンパスに存在している意味を。

だって太陽の色は、温度は、匂いは、ぜんぶ…君と重なってる。

それを切り離したくって、だけど切り離せなくって。存在自体を忘れたくて、忘れられなくて。

君のあの綺麗な声を、髪を、瞳を、わたしは忘れることができない。

澄んだ青空を見て、また悲しくなる。

その悲しみに耐えられなくなったら、静かに涙を流す。

それを、太陽が空から消えない限り、永遠に繰り返す。

だけどどんなに嘆いても、どんなに足掻いても、どんなに喚いても、君はもう戻ってこない。

…多分それが、“運命”というものなのだろう。  
絶対に変わることはない、悪魔の契約。…うっん、カミサマの気まぐれかな？

・ T o - m o r r o w / T o - m o r r o w / T o - m o r r o w . . .

また同じことを、何度も何度も、繰り返して。

(後書き)

初投稿です。

不審な点・おかしな点がありましたらご指摘お願いします。  
読んでいただきありがとうございます。

## PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になるうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能<sup>たんのう</sup>してください。

---

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。  
<http://ncode.syosetu.com/n0081j/>

---

運命という名の呪縛

2010年10月19日10時44分発行